

深井穂博ほか編. 健康長寿社会に寄与する歯科医療・口腔保健のエビデンス. 東京:日本歯科医師会;2015.

(Fukai K et al. The current evidence of dental care and oral health for achieving healthy longevity in an aging society 2015. Tokyo: Japan Dental Association; 2015.)

目次

CONTENTS

I. 緒言および総括報告	5
II. 課題別エビデンス	13
1. 口腔保健とaging	15
1) 高齢社会と口腔保健	16
2) 口腔疾患、歯数、口腔組織、食習慣とaging	24
3) 咀嚼(咬合を含む)、嚥下(口腔乾燥を含む)	36
2. 口腔保健(歯の保存状況、咀嚼、口腔疾患等)と寿命	43
1) 歯数と寿命	44
2) 咀嚼と寿命	58
3) 口腔疾患と寿命	66
3. 口腔保健と生活習慣病、非感染性疾患(NCDs、非伝染性疾患)	71
1) 糖尿病	72
- 糖尿病の口腔への影響と糖尿病患者への歯科治療の効果 -	
2) 肺炎等呼吸器疾患	82
- 口腔ケアと肺炎予防、人工呼吸器関連肺炎予防 -	
3) がん	86
- がん治療における口腔ケアの役割 -	
4) 循環器疾患(心臓血管疾患、脳血管疾患)	112
- 口腔保健と循環器疾患 -	
5) メタボリックシンドローム(肥満、脂質異常症、高血圧、糖尿病)	118
6) NCDsのリスクファクター(喫煙、過度の飲酒、運動不足、食習慣)と口腔保健	130
4. 口腔保健と要介護状態を引き起こす主な原因疾患との関係	145
1) 脳卒中	146
- 口腔保健と脳血管疾患 -	
2) 認知症	152
3) 転倒・骨折	160
4) 関節疾患	166
- 歯周病と関節リウマチ -	
5) その他	172
- 口腔保健と要介護状態 -	

5. 運動(ADL含む)	179
- 高齢者の口腔健康と体力およびADL -	
6. 栄養	191
- 歯・口腔の健康と栄養 -	
7. 休養・コミュニケーションおよびQOL	205
8. 口腔保健と社会的決定要因	215
- 口腔の健康格差と社会的決定要因 -	
9. 歯科医療の効果	229
1) 口腔ケアが手術後の治療期間、状態に与える影響(多職種連携含む)	230
- 外科周術期管理における口腔ケアの役割 -	
2) 口腔機能の低下防止・回復	240
3) 歯の喪失防止効果	244
4) 健康教育(コモンリスクファクターアプローチを含む)及びその手段であるフッ化物物局所応用法	252
5) 在宅歯科医療	260
III. まとめ	265
IV. 資料	267
1. 日本の8020運動	269
~ 沿革と運動の効果、そしてこれからの展望 ~	
2. わが国の医療保険制度(国民皆保険制度)	279

健康寿命の延伸

寿命

ADL

社会参加

健康な加齢・
老化

QOL

健康増進・加齢変化の制御

運動

栄養・食生活

コミュニケーション機能
・休養(ストレス軽減)

要介護の原因への対処

脳卒中 認知症 転倒 関節疾患 その他

死亡率の減少・生活習慣病(NCDs)・その他の全身疾患の予防・重症化防止

がん 心臓血管疾患 脳血管疾患 慢性呼吸器疾患 糖尿病 その他

NCDsリスクファクター: 高血圧, 肥満, 喫煙, 運動, 食習慣

口腔衛生 う蝕 歯周病 歯数 咬合 咀嚼・嚥下 構音・発話 審美性 その他

口腔機能(咀嚼・嚥下機能等)の低下防止・回復

口腔保健

歯の喪失防止・咬合の保持

口腔疾患(う蝕・歯周病等)

口腔衛生・生活習慣(喫煙、食習慣等)

歯科医療
(在宅医療含む)

歯・口腔の健康

医療提供・疾病対策

社会的決定要因

歯科医療・口腔保健と健康寿命の概念的パスウェイ